



# かけこ通信

令和5年度第3号  
令和5年6月22日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

## 1年生が掛合町内を巡るバスツアーに出かけました

6月2日(金)と6日(火)、1年生の地域交流学習の本格的なスタートとして、掛合町内を巡るバスツアーを行いました。昨年度からスタートさせたこのツアーは、1年生が行っていく探究学習のために、掛合町内5地区の名所や様子を、実際に足を運び一通り見て学ぶという目的があります。

2日(金)は波多、多根、掛合の3地区を回り、波多地区では、波多神社を、多根地区では円通寺にお参りし、センター長さんにお



話をお伺いしました。掛合地区では、掛合の里で地区の現状と課題などの講話をお聞きし、その後お昼をいただきました。

6日(火)午後から入間、松笠地区に出かけ、入間地区は八重山神社へ参拝し、松笠地区は龍頭が滝に行きました。

それぞれ地元の名所のよさや歴史や伝統を感じることができました。

1年生はこの5地区の担当分かれて、1年間かけて地域課題解決のためのミニ探究学習へ向き合っていきます。



## 校外進路学習へ出かけました

6月8日(木)全校で校外進路学習へ出かけました。企業見学コースと学校見学コースに分かれて、バス2台で出発しました。

企業見学コースは、午前中にパナソニックソーラーシステム製造株式会社、株式会社デルタ・シー・アンド・エス雲南工場を見学しました。それぞれの製造ラインなどを見学させてもらい、一つの製品ができあがっていく様子、技術の進歩などを目の当たりにしました。

学校見学コースの午前中は、コースをさらにトリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校、出雲医療看護専門学校、コアカレッジの3学校に分けて、訪問しました。それぞれの学校での特色に応じた様々な様子を見学したり、体験したりしました。最先端の機器をとり入れた実習や実際の学生さんの様子を見ることで、それぞれの学校の特色や具体的なイメージや雰囲気などを掴むことができました。

午後からは、出雲合同庁舎で行われたライセンスアカデミー主催の企業ガイダンス・進学ガイダンスへ参加し、希望のブースを回り、企業や学校の様子を詳しく聞くことができました。

今回見聞きしたことを参考に、自分らしくいられるようなことやものを探りながら自分の進路に向き合っていくてくれることを願っています。



## 掛合小学校と連携活動を行っています

掛合小学校との読み語り活動や昼休みコラボなどの交流活動を今年度も引き続き行っています。

今年度初回の読み語り活動には6月2日(金)に3年生が出かけました。小学生は高校生が読み聞かせしてくれる時間を楽しんで、熱心に聞いてくれました。特に5年生で読んだ本が、小学生にも小学校の先生方にも好評で、すぐに高校に絵本を借りに来られて、話題になっていました。掛合小学校は「子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」を受賞されこの5月に表彰を受けられました。小学校での取り組みの様子などは6月1日の朝日新聞などにも大きく取り上げられていますが、この読み語り活動も一役かっているのかと思うと、掛合分校にとっても受賞は大変うれしいニュースでした。



今年度初の昼休みコラボ活動は6月7日(水)に体育委員を中心として行いました。この日は天気が良かったので、校庭でサッカーやドッジボール、おにごっこなどめいめいが好きなあそびをしました。高校生がお弁当を食べ終わるのが待ちきれなくて昇降口まで迎えに来た小学生に、最初は戸惑っていた生徒たちも次第にペースを掴み、一緒に賑やかな時間を過ごしました。



これらの交流を通して小学生と向き合うことで、生徒たちの自己有用感や自己肯定感が自ずと高まっていくことを願っています。

## 花田植えに参加しました

5月28日(日)入間交流センターで行われた花田植えに希望者の生徒たちが参加しました。

本校から11名の生徒が参加し、女子生徒は伝統衣装を身につけ「早乙女」となり田植えを、男子は法被を着て「苗渡し」をしました。本校のALTさんやその友人などの参加もあり、早乙女さんは総勢30人ほどになり、賑やかに行われました。

これまで宇山地区での田植えを経験してきた2、3年生も最初はお囃子の早さにペースがつかめず戸惑いもあったようですが、地域の方々と一緒になって行う花田植えの楽しい雰囲気を楽しんでしっかり楽しむことができました。苗渡しの男子も早乙女さんの植えていく様子を後ろからしっかり見守りながら、絶妙のタイミングで苗を渡していました。



掛合分校では1年生から地域学習に取り組んでいますが、地域への愛着や伝統文化を大事にする心が育ち、そして何より自分から進んで行事に参加しそれを楽しむことができる、まさに地域と向き合い、自分に向き合っている姿がそこにあると思いました。そしてその先には地域の方の喜びも間違いなく存在すると感じるこのことのできる日でした。